



美しい風景、美しい食材、美しい心意気、
を応援するプロジェクト

日本に残されている「本当に美しい地域」と、そこで作られている「本当に美しい食材」。その2つを見つけ、貴重な美しさがずっと続くように応援していく。それがシュガーレディの「美しい国から」プロジェクトです。私たちが築き上げてきたお客さまとのネットワークを通じて、その地域と食材を知っていただくことが、美しい風景や生産物、そして人を守っていくことになると考えます。今回はプロジェクト第1弾として選ばれた地域、オホーツクへ。こだわりを持って仕事に打ち込む生産者を訪ね、その真摯な心意気に触れました。

北

海道の北東部に位置するオホーツク管内。北は紋別郡雄武町、南は斜里町・知床まで278キロの海岸線でオホーツク海と接しています。オホーツク圏と呼ばれるこの地域には、それぞれに個性的な18の市町村があり、年間1000万人もの観光客が訪れます。雄大な風景を誇る管内には、手つかずの原始的景観が見事な知床、阿寒の2つの国立公園と、網走国立公園が。さらに森林と湖沼と海が融和した豊かな自然資源にも恵まれています。また冬には流水が到来してわが国唯一の流水・結氷地帯となるなど、北海道らしい風景に出会えるのも魅力です。2005年7月に知床が世界自然遺産に登録。11月には瀟沸湖がラムサール条約登録湿地に認定されました。



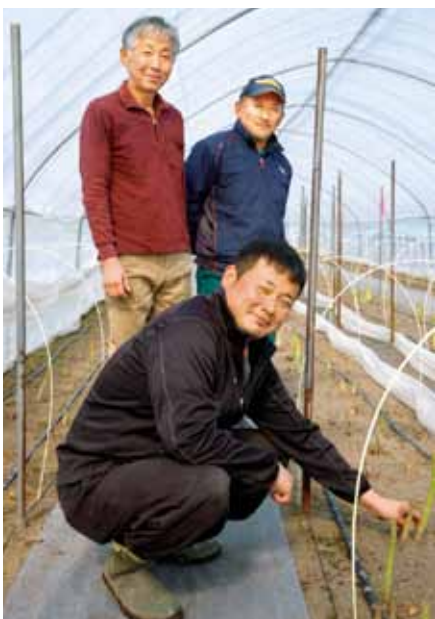
「美しい国から」 生産者たちの 熱い〃志〃を訪ねて

プロジェクト第1弾 オホーツクエリアの こだわりの 生産者たち



売上金の一部はオホーツク地域限定の環境保全に役立てるため、北海道庁に寄付させていただきます。

美幌町でアスパラガス育てる平岡桐祥さん・敏幸さん父子と、高橋義博さん（奥右）。美幌町ではビニールハウスを使った「伏せ込み栽培」によって、北海道で唯一、冬期にもグリーンアスパラガスを栽培。太くて甘みとうまみが強い逸品を出荷しています。



玉ねぎ生産量日本一を誇る北見市。田中勇さん（手前）は農薬などをなるべく使わず、微生物が豊富に、元気に働ける土づくりをし、健康的に玉ねぎを育てるのが身上です。後方は、田中さんと力を合わせて農業に取り組む「イソップアグリシステム」の金崎拓也さん。



北見は玉ねぎとともに、じゃがいもの生産も盛ん。「グリーンズ北見」は、地元の玉ねぎとじゃがいもをはじめ道産の素材を使い、手間を惜しまない、こだわりの製法で作るコロッケなどの加工品が人気の会社。写真はヒット商品を開発して活躍している丸山勇太さん。





生産者や関係者とのつながりを大切にする道山さん(右)。美幌町のアスパラガスも、こうした密なやりとりや協力のもと、その質を高めながら市場へと出荷されていきます。



オホーツクという美しい地域で日本の農業をもっと強くしたい

千葉県で生まれ、東京農業大学オホーツクキャンパスで学んだ道山マミさん。卒業後、心を残しながらも北海道を離れ、結婚、出産。でも10年前、家族とともに北海道に戻ってきました。

「起業間もない頃、有機栽培農家の軒先に売れないまま放置されたじゃがいもの山を見ました。『もう二束三文でんぶんにするしかない』と聞き、シヨックを受けたんです。『よいものを作っているのに、まだ知られていない産地を知っ



「オホーツクテロワールドウ」 代表取締役社長 道山マミさん

「美しい国から」プロジェクト誕生のきっかけとなったのは、オホーツクエリアの素晴らしい生産者たちとの出会いです。その中心となって活動しているお2人に、今の思いと夢をうかがいました。



美しい国から
美しい風景、美しい食材、美しい心意気、
を応援するプロジェクト



でもらい、消費地とつながりたいー』と思いました。その気持ちは今も同じです」

その後、新たに「テロワールドウ」という会社を設立。オホーツクの上質な原料を生かし、広めるためには加工力と販売力が重要と考え、ここにしかない条件で作られる生産物の販売促進企画や加工食品開発のコンサルティング、アンテナショップ経営などに奮闘しています。

その道山さんが「美しい国から」へ特に共感を寄せるのは、プロジェクトの4つの約束のなかにある「美しい地域」という言葉です。

「オホーツクは本州から遠く、インフラが遅れたマイナスイメージの強い土地。でも、流水が訪れる極寒の気候が、この地域の産物の味を作り上げています。手つかずの自然なので病害虫も少ない、いい土地がたくさん残っているんです」

さらに、4つの約束の言葉の一つ、「希少価値」もとても大切と考えています。

「この美しいオホーツクで新しい農業に取り組み、希少価値の高い産物を届けるのが私の大事な役割。その夢をシュガーレディのみなさんといっしょに実現していければと思っています」

プロジェクトを力強く支える2人が「美しい国から」を語る

自分が住む土地を愛しながら、安心でおいしい野菜を作りたい

日本を代表する大規模な有機農地帯、女満別(めづべつ)の日進地域。その有機農業を牽引してきたのが赤石昌志さんです。35年前までは一般的な農業を営んでいた赤石さん。ところがアトピーに苦しむ親戚に有機栽培の食材を与えてみると、症状が改善したとか。それを機に有機農業に取り組む決意をしたのです。

「最初は『バカじゃねえの』とも言われました。でも私は人と違うことをやるのが好きな変人(笑)。たった一人で挑むうち仲間が増え、『だれもが安心して口にできる農産物を世に届けること』を目標に打ち込みました。それが少しずつ地域に認められるようになったのです」

仲間たちと有機栽培の同友会「大地のMEGUMI」も設立。現在是有機栽培を中心にじゃがいもやかぼちゃを



「大地のMEGUMI」 代表取締役副社長 赤石昌志さん

育て、冷凍のカットポテトなど加工品も次々に開発中。そんな赤石さんが大好きな柳田國男の言葉があります。

「美しい村などはじめからあったわけではない。そこに住む人が美しく住もうとつとめて、はじめて美しい村になるのである」。

「『美しい国から』の思いと通じるでしょう。自分が住む、愛する地域を大事にしながら、いい農産物を作ろうと努めてきた私たちにシュガーレディが共感してくれた。それがこのプロジェクトとの出会いです。このご縁を大切にし、力を合わせてがんばっていきます」

このプロジェクト商品の4つの約束

1. 美しい地域で、美しい志とともに作られたものです
2. そのエリアで作られる、希少価値の高いものです
3. そのエリアの地元のかたがたに、人気の高いものです
4. もちろん、シュガーレディの基準をクリアしています



冬の間、倉庫に大切に保管されている、じゃがいもの種いも。「いくら体によくて、まずくても意味がない。おいしくなければ有機じゃない」が赤石さんのポリシーです。

その他のプロジェクト活動

レシピ紹介と料理教室(シュガーパーティ)の開催

「美しい国から」の食材を使った地元料理や、シュガーレディによるオリジナルレシピを『BIMIAN』にてご紹介。シュガーパーティセットのテーマなどにも採用します。

農業体験や生産地ツアー

美しい生産地をより深く知る、思い出に残る旅をシュガーレディが提供します。生産者との懇親会のほか、地元のガイドさんによる周辺観光などを企画するツアーです。

「美しい国から」専用のHP・SNSの運営

生産者のこだわりや、生産地の情報のほか、シュガーレディの思いなどをダイレクトにお客さまに伝えていきます。

お客さまの声を生産者へ

シュガーレディがお客さまの声を集め、直接生産者に届けていきます。

売上金の一部を寄付

生産地域の環境保全、地域振興を応援するため、商品の売上金の一部を寄付いたします。